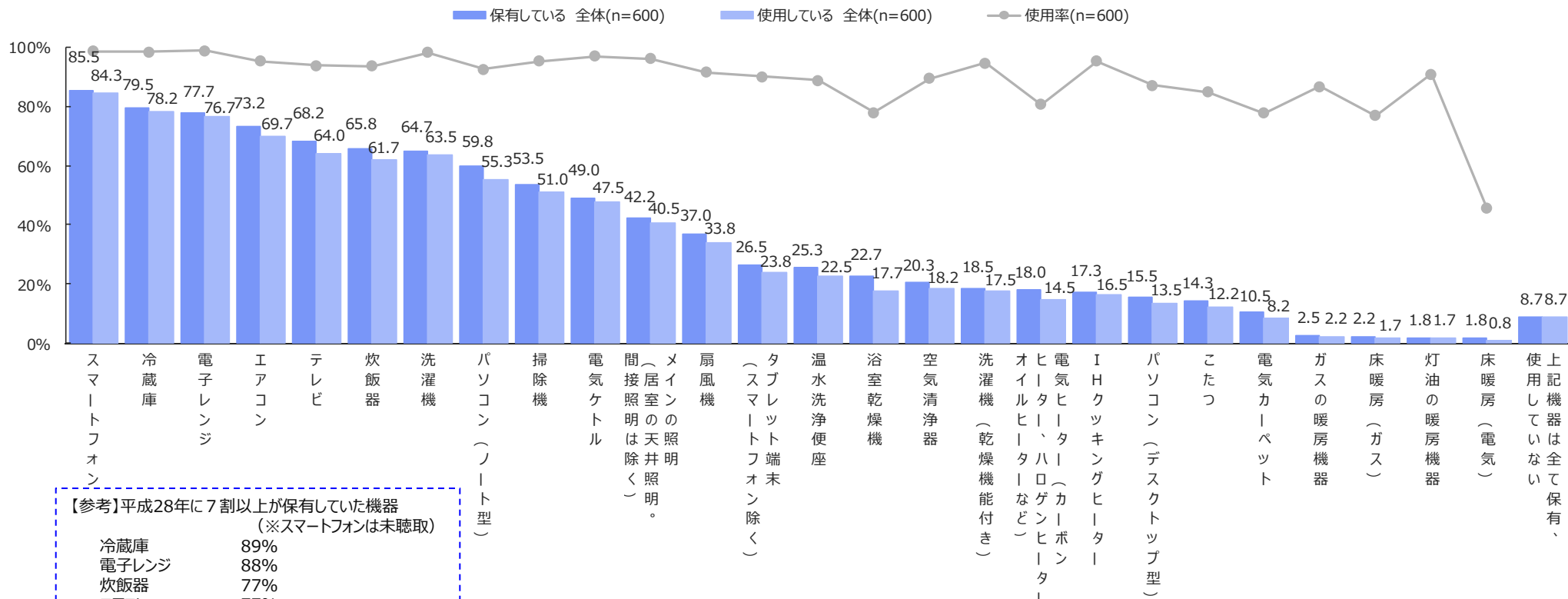


家電製品の保有状況

- 最も保有が多いのは「スマートフォン」で、次いで「冷蔵庫」「電子レンジ」「エアコン」と続き、いずれも7割以上を占めている。
- 保有と使用を比べてみると、保有の高低に関わりなく、ほぼ保有しているものは使用されているが、「床暖房（電気）」は部屋に備え付けられていても使用率（使用／保有）はやや低い。



【参考】平成28年に7割以上が保有していた機器
（※スマートフォンは未聴取）

冷蔵庫	89%
電子レンジ	88%
炊飯器	77%
エアコン	77%
洗濯機	73%
テレビ	72%
パソコン（ノート型）	70%

※「保有している 全体」の値を基準に降順並び替え

Q2 以下の機器の中から、現在保有している機器、直近1年以内に使用している機器をすべて選んでください。（各MA）

主な家電製品の使われ方-1 テレビ①視聴状況

■ テレビをつけている時間は【休日などで家にいる日】が最も長く（平均4.3時間）、【出勤などで外出している日】が最も短い（平均2.4時間）が、その差は平均で2時間程度である。いずれの場合もテレビの視聴は「放映中の番組の視聴」が最も利用割合としては高く5割程度を占めているが、【休日などで家にいる日】は「録画した番組の視聴」や「TVerやU-NEXT、Netflixなどインターネットの動画視聴」割合がやや高くなる傾向がみられる。

平均使用時間一覧

		(時間)		
		外へ 出社 など で 日	在 宅 で 働 い て 日	家 に 休 日 な ど で
性年代別	全体	2.4	3.7	4.3
	男性	2.2	3.2	3.7
	女性	2.5	4.1	4.8
	18-29歳	2.5	3.6	4.1
	30-39歳	2.2	3.8	4.5
	男性/18-29歳	2.3	3.3	3.6
	男性/30-39歳	2.1	3.1	3.8
	女性/18-29歳	2.7	3.8	4.5
	女性/30-39歳	2.3	4.4	5.1

出勤などで外出している日

		(平均割合：割)					
		放映中の 番組の視聴	録画した 番組の視聴	DVD、 ブルーレイの視聴	TVerやU-NEXT、 Netflixなどインター ネットの動画視聴	テレビゲーム	その他
n=							
全体	384	5.2	2.2	0.2	2.0	0.4	0.1
男性	180	5.1	1.9	0.2	2.1	0.6	0.2
女性	204	5.2	2.4	0.3	1.9	0.2	0.1
18-29歳	190	4.8	2.2	0.2	2.1	0.5	0.2
30-39歳	194	5.6	2.1	0.2	1.9	0.2	0.0
男性/18-29歳	90	4.9	1.9	0.2	2.0	0.8	0.0
男性/30-39歳	90	5.3	1.9	0.2	2.2	0.4	0.1
女性/18-29歳	100	4.7	2.6	0.3	2.2	0.2	0.1
女性/30-39歳	104	5.8	2.3	0.2	1.6	0.1	0.1

テレワークなどで 在宅で働いている日

		(平均割合：割)					
		放映中の 番組の視聴	録画した 番組の視聴	DVD、 ブルーレイの視聴	TVerやU-NEXT、 Netflixなどインター ネットの動画視聴	テレビゲーム	その他
n=							
全体	136	4.9	2.0	0.2	2.3	0.6	0.1
男性	70	5.4	1.1	0.1	2.6	0.7	0.1
女性	66	4.4	2.9	0.2	2.0	0.4	0.1
18-29歳	66	4.5	2.1	0.2	2.3	0.7	0.1
30-39歳	70	5.2	1.8	0.2	2.2	0.4	0.1
男性/18-29歳	34	5.1	1.3	0.2	2.3	1.1	0.0
男性/30-39歳	36	5.6	1.0	0.2	2.9	0.4	0.2
女性/18-29歳	32	3.9	3.0	0.1	2.3	0.4	0.2
女性/30-39歳	34	4.9	2.8	0.3	1.6	0.4	0.4

休日などで家にいる日

		(平均割合：割)					
		放映中の 番組の視聴	録画した 番組の視聴	DVD、 ブルーレイの視聴	TVerやU-NEXT、 Netflixなどインター ネットの動画視聴	テレビゲーム	その他
n=							
全体	384	4.4	2.4	0.4	2.4	0.5	0.1
男性	180	4.7	2.1	0.3	2.2	0.7	0.1
女性	204	4.2	2.6	0.5	2.5	0.3	0.0
18-29歳	190	4.1	2.3	0.4	2.5	0.6	0.1
30-39歳	194	4.7	2.4	0.4	2.2	0.3	0.0
男性/18-29歳	90	4.3	2.0	0.3	2.4	0.8	0.1
男性/30-39歳	90	5.0	2.1	0.3	2.1	0.5	0.1
女性/18-29歳	100	4.0	2.6	0.4	2.7	0.3	0.1
女性/30-39歳	104	4.3	2.6	0.5	2.4	0.2	0.2

Q5 1日平均何時間テレビをつけていますか。それぞれお選びください。／『平均（時間）』スコア（各SA）【使用者ベース】
 Q6 テレビをつけている時間のうち、下記の目的による利用割合はどれくらいですか。／『平均（割）』スコア（各NU）【使用者ベース】

主な家電製品の使われ方-1 テレビ②ながら見

- 全体の8割がテレビのながら見をしており、日による、ながら見の割合を見ると、【休日などで家にいる日】が最も高い。
- ながら見をする理由は、「限られた時間の中で、別のことを同時にしながらテレビの情報も得たいから」が最も高く、いわゆるタイムパフォーマンスの向上を理由としている人が6割以上を占めている。

ながら見の有無

		n=	はい (%)	いいえ (%)
全体		384	82.0	18.0
性年代別	男性	180	76.7	23.3
	女性	204	86.8	13.2
	18-29歳	190	80.0	20.0
	30-39歳	194	84.0	16.0
	男性/18-29歳	90	74.4	25.6
	男性/30-39歳	90	78.9	21.1
	女性/18-29歳	100	85.0	15.0
	女性/30-39歳	104	88.5	11.5

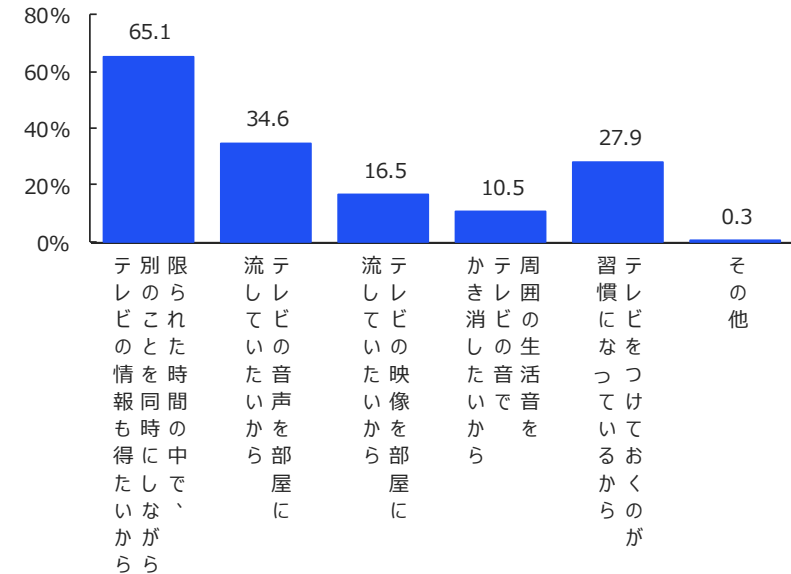
【参考】平成28年 ながら見率
全体 89%

ながら見の割合

		(%)		
		外【出社などでいる日】	在【在宅で働いている日】	家【休日などで家にいる日】
全体		57.8	59.7	60.3
性年代別	男性	56.1	53.7	57.6
	女性	59.2	65.1	62.4
	18-29歳	55.4	57.0	56.8
	30-39歳	60.1	62.6	63.5
	男性/18-29歳	53.3	48.1	52.1
	男性/30-39歳	58.7	59.2	62.8
	女性/18-29歳	57.1	64.7	60.6
	女性/30-39歳	61.2	65.5	64.0

※n=30未満は参考値のため灰色。

ながら見する理由



【参考】平成28年 ながら見理由

- 限られた時間の中で、別のことを同時にしながらテレビの情報も得たいから 77%
- テレビの音声を部屋に流していたいから 41%
- テレビをつけておくのが習慣になっているから 30%

Q7 テレビをつけながら、他の作業をしていること（いわゆる「ながら見」）はありますか。（SA）【使用者ベース】

Q8 「ながら見」は、テレビをつけている時間のうち、どれくらいの割合ですか。それぞれお選びください。/『平均 (%)』スコア（各SA）【ながら見者ベース】

Q9 「ながら見」の理由について、当てはまるものをすべて選んでください。（MA）【ながら見者ベース】

主な家電製品の使われ方-1 テレビ③省エネモード設定と録画状況

- テレビの省エネモード設定者は、約3割である。
- 録画機能使用は半数程度で、録画したのに未視聴の有無については、「よくある」と「たまにある」を合わせた『ある・計』が75.5%と約4分の3を占める。性別、年齢別にみても大きな差はみられず、いずれも7割以上が録画未視聴状況がある、としている。

省エネモードの設定

		n=	(%)	
			はい	いいえ
全体		384	31.0	69.0
性年代別	男性	180	32.8	67.2
	女性	204	29.4	70.6
	18-29歳	190	32.6	67.4
	30-39歳	194	29.4	70.6
	男性/18-29歳	90	40.0	60.0
	男性/30-39歳	90	25.6	74.4
	女性/18-29歳	100	26.0	74.0
	女性/30-39歳	104	32.7	67.3

録画機能の使用

		n=	(%)		
			はい	いいえ	持っていない
全体		384	52.1	27.1	20.8
性年代別	男性	180	47.2	25.6	27.2
	女性	204	56.4	28.4	15.2
	18-29歳	190	54.2	26.3	19.5
	30-39歳	194	50.0	27.8	22.2
	男性/18-29歳	90	50.0	25.6	24.4
	男性/30-39歳	90	44.4	25.6	30.0
	女性/18-29歳	100	58.0	27.0	15.0
	女性/30-39歳	104	54.8	29.8	15.4

録画未視聴状況

		n=	ある・計		ない・計		(%)	
			よくある	たまにある	ほとんどない	ない	ある・計	ない・計
全体		200	31.0	44.5	17.5	7.0	75.5	24.5
性年代別	男性	85	27.1	45.9	22.4	4.7	72.9	27.1
	女性	115	33.9	43.5	13.9	8.7	77.4	22.6
	18-29歳	103	32.0	42.7	15.5	9.7	74.8	25.2
	30-39歳	97	29.9	46.4	19.6	4.1	76.3	23.7
	男性/18-29歳	45	31.1	42.2	17.8	8.9	73.3	26.7
	男性/30-39歳	40	22.5	50.0	27.5		72.5	27.5
	女性/18-29歳	58	32.8	43.1	13.8	10.3	75.9	24.1
	女性/30-39歳	57	35.1	43.9	14.0	7.0	78.9	21.1

Q10 テレビ画面の明るさを抑えたり、省エネモードを設定したりしていますか。当てはまるものを一つ選んでください。(SA)【保有者ベース】

Q11 テレビの録画機能やレコーダー（ブルーレイ等）で録画しますか。(SA)【保有者ベース】

Q12 録画した番組を見ずにそのままにしたり、番組を削除したりすることはありますか。当てはまるものを一つ選んでください。(SA)【録画者ベース】

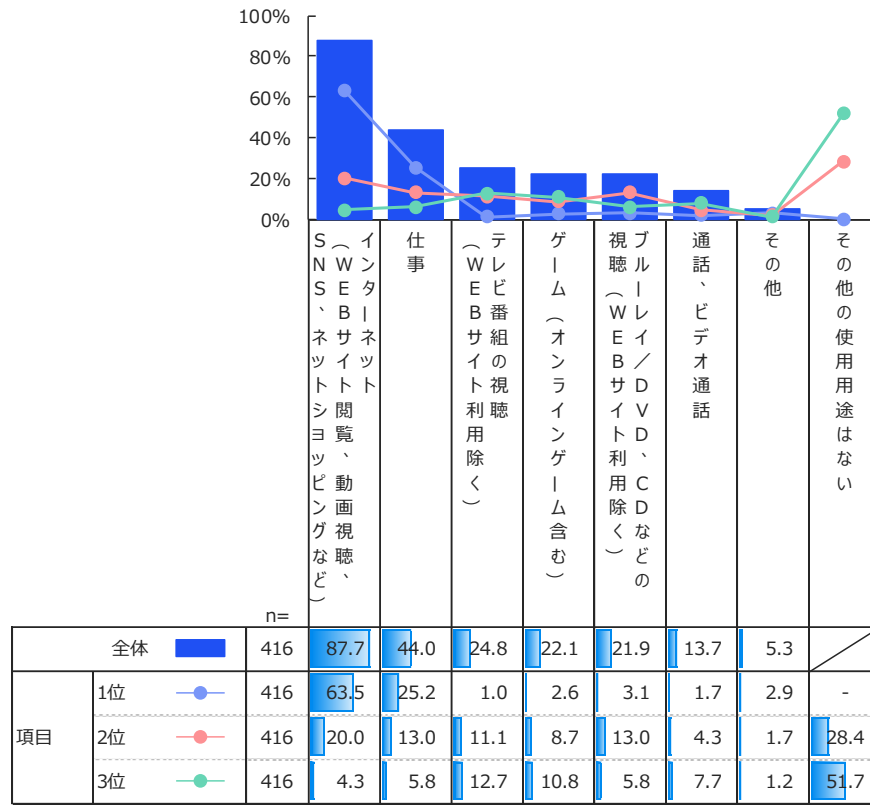
主な家電製品の使われ方-2 パソコン

- パソコンの使用時間は、【テレワークなどで在宅で働いている日】が最も長く平均6.7時間で、【出勤などで外出している日】が最も短く平均3.2時間で、2倍以上差が開く。パソコンの使用用途上位3位を合算すると最も高い用途は「インターネット」で次いで「仕事」「テレビ番組の視聴」「ゲーム」と続く。
- 長時間使用しない場合は、約7割がシャットダウンするとしている。

自宅でのパソコン使用時間

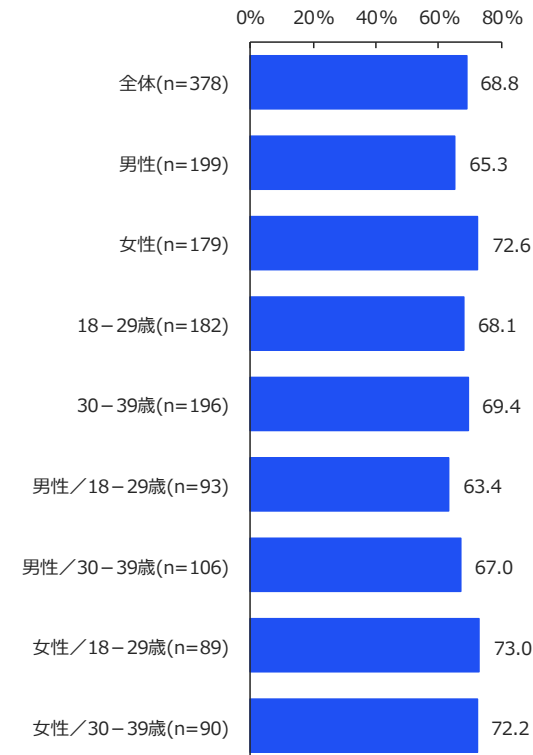
		(時間)		
		外【出社など 外出している日】	在【在宅でテレワーク している日】	家【休日など にいない日】
全体		3.2	6.7	3.9
性年代別	男性	3.0	6.5	3.9
	女性	3.6	6.8	3.9
	18-29歳	2.8	6.1	3.3
	30-39歳	3.6	7.1	4.4
	男性/18-29歳	2.5	5.3	3.4
	男性/30-39歳	3.4	7.4	4.3
	女性/30-39歳	3.9	6.8	4.5

パソコン使用用途上位3位



※全体の値を基準に降順並び替え

シャットダウン率



【参考】平成28年 パソコンシャットダウン率
 全体 69%
 男性 65%
 女性 74%

- Q13 自宅で1日にパソコン（タブレット含む）を何時間使用しますか。それぞれお選びください。/『平均（時間）』スコア（各SA）【使用者ベース】
 Q14 自宅でパソコン（タブレット含む）の主な使用用途は、何ですか。当てはまる主なものを上位1~3位まで選んでください。（各SA）【使用者ベース】
 Q15 自宅でパソコンを使用する際、長時間（概ね90分以上）使用しない時は、シャットダウンをしていますか。当てはまるものを一つ選んでください。（SA）【使用者ベース】

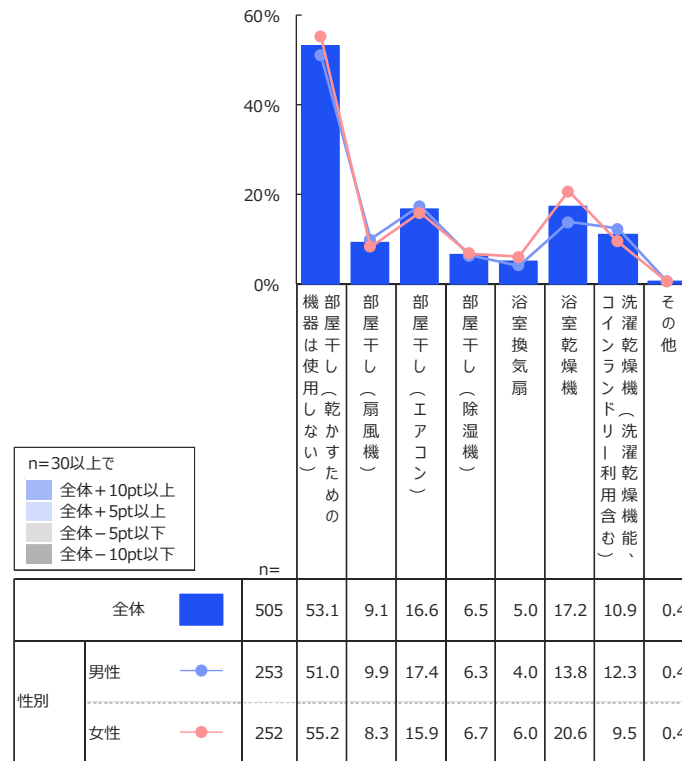
主な家電製品の使われ方-3 洗濯乾燥

■ 衣類の洗濯後の乾かし方は、外干し以外の乾かし方を「常時」するとの回答が約半数を占めており、「乾燥機の利用、または部屋干しはしておらず、いつも外干しをしている」(15.8%)を大きく上回っている。しかし、外干し以外の乾かし方は、「部屋干し(乾かすための機器は使用しない)」が半数以上を占めており、性別、年齢別にみても同様の傾向である。外干しをしないといっても、必ずしも機器を使っているわけではない。

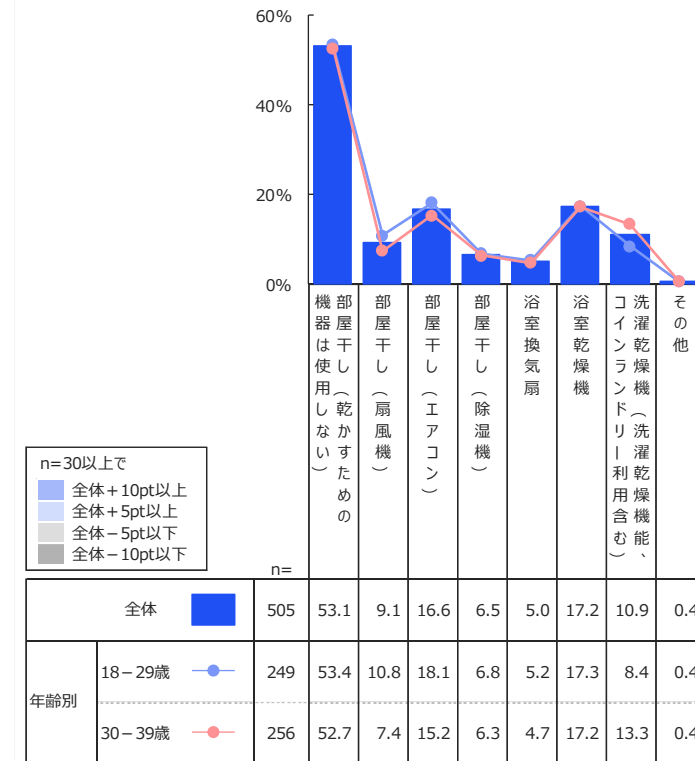
衣類の洗濯後の乾かし方

		n=	常時	雨天の日	特定の季節	夜間の洗濯時	乾燥機の利用、または部屋干ししている	その他
全体		600	49.2	29.7	8.5	8.3	15.8	1.2
性年代別	男性	300	48.0	30.0	6.3	8.3	15.7	1.0
	女性	300	50.3	29.3	10.7	8.3	16.0	1.3
	18-29歳	300	50.3	27.0	8.7	6.3	17.0	0.7
	30-39歳	300	48.0	32.3	8.3	10.3	14.7	1.7
	男性/18-29歳	150	48.7	28.0	7.3	6.7	15.3	1.3
	男性/30-39歳	150	47.3	32.0	5.3	10.0	16.0	0.7
	女性/18-29歳	150	52.0	26.0	10.0	6.0	18.7	-
女性/30-39歳	150	48.7	32.7	11.3	10.7	13.3	2.7	

外干し以外の乾かし方 (性別)



外干し以外の乾かし方 (年齢別)



Q16 衣類の洗濯後の乾かし方についてお尋ねします。外干し以外の乾かし方(乾燥機の利用、または部屋干し)は、どのような時にしていますか。当てはまるものをすべて選んでください。(MA)

Q17 洗濯物を外干し以外の方法で乾かす場合、どのように乾かしますか。当てはまるものをすべて選んでください。(MA)【外干し以外で乾燥者ベース】

主な家電製品の使われ方-4 炊飯器

- 炊飯器の使用頻度は週1回以上が全体の4分の3以上を占める。
- まとめ炊き率が一番高いのは「週に1～2回程度」の頻度で炊飯器を使用する人で9割以上がまとめ炊きと回答している。保存方法は「冷ました後、冷蔵庫または冷凍庫で保存」が最多。

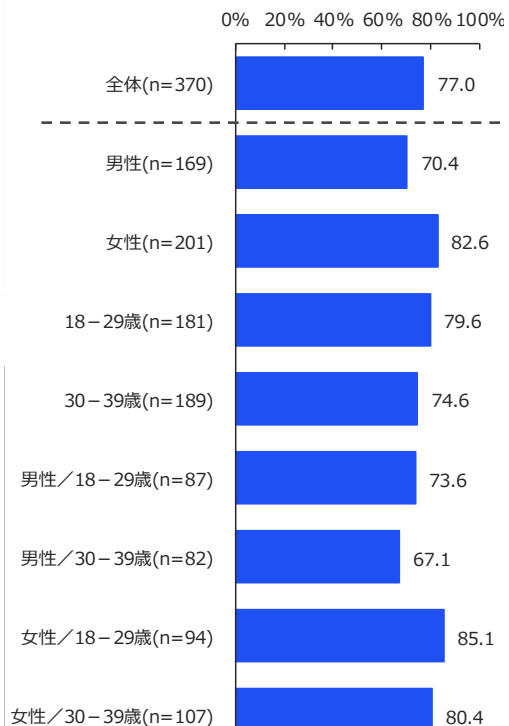
炊飯器の使用頻度

		n=							
		ほぼ毎日 (週5日以上)	週に 3～4回程度	週に 1～2回程度	月に 2～3回程度	月に 1回程度	それ以下	持っているがほとんど 使用していない	
全体	370	17.0	19.7	39.2	13.5	4.9	1.6	4.1	
性年代別	男性	169	19.5	26.0	34.3	11.2	3.6	1.2	4.1
	女性	201	14.9	14.4	43.3	15.4	6.0	2.0	4.0
	18～29歳	181	17.1	22.1	42.5	11.0	3.9	1.1	3.3
	30～39歳	189	16.9	17.5	36.0	15.9	5.8	3.2	4.8
	男性/18～29歳	87	17.2	26.4	40.2	11.5	3.4	1.1	3.4
	男性/30～39歳	82	22.0	25.6	28.0	11.0	3.7	2.4	7.3
	女性/18～29歳	94	17.0	18.1	44.7	10.6	4.3	5.3	5.3
	女性/30～39歳	107	13.1	11.2	42.1	19.6	7.5	3.7	2.8

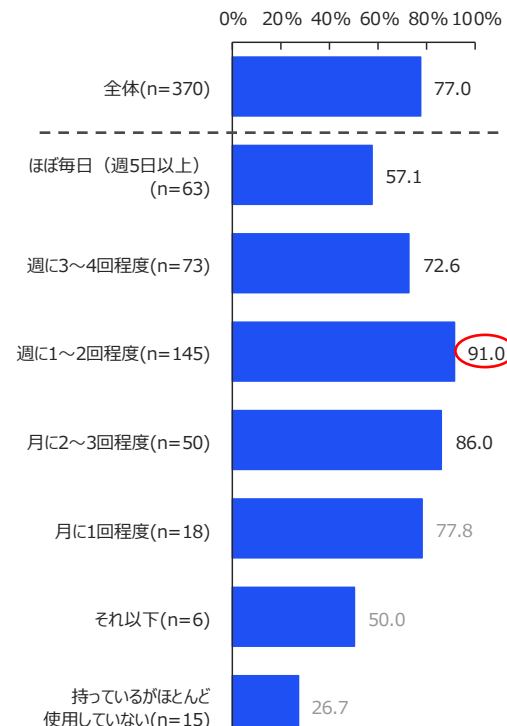
まとめ炊きごはんの保存方法

		n=						
		冷ました後、 冷蔵庫または 冷凍庫で保存	冷まず、 冷蔵庫または 冷凍庫で保存	保温状態にし、 食べるまで 炊飯器に 入れたままにする	保温をせず、 食べるまで 炊飯器に 入れたままにする	炊飯器から別の 容器に入れ替えて、 食べるまで 入れたままにする (冷蔵庫・冷凍庫には 保存しない)	その他	
全体	285	70.5	16.8	6.0	4.2	2.1	0.4	
性年代別	男性	119	64.7	16.0	8.4	7.6	2.5	0.8
	女性	166	74.7	17.5	4.2	1.8	1.8	0.8
	18～29歳	144	64.6	19.4	7.6	6.3	2.1	0.7
	30～39歳	141	76.6	14.2	4.3	2.1	0.7	0.7
	男性/18～29歳	64	57.8	17.2	10.9	12.5	1.6	1.6
	男性/30～39歳	55	72.7	14.5	5.5	1.8	3.6	1.8
	女性/18～29歳	80	70.0	21.3	5.0	1.3	2.5	2.5
	女性/30～39歳	86	79.1	14.0	3.9	2.3	1.2	1.2

まとめ炊き率



まとめ炊き率 (炊飯器の使用頻度別)



※n=30未満は参考値のため灰色。

Q20 炊飯器の使用頻度をお知らせください。(SA)【使用者ベース】 Q21 ご飯をまとめて(1度に2食分以上)炊いていますか。(SA)【使用者ベース】

Q20×Q21 ご飯をまとめて(1度に2食分以上)炊いていますか。(SA)【使用者ベース】 Q22 まとめて炊いたご飯をどのように保存していますか。当てはまるものを一つ選んでください。(SA)【まとめ炊き者ベース】

主な家電製品の使われ方-5 暖房機器

- 主に使用する暖房機器は「エアコン」が7割以上を占め最多で、次いで「こたつ」「電気ヒーター」がそれぞれ約1割を占めている。
- 主に使用する暖房機器の使用理由は「すぐに暖くなるから」「部屋全体を暖めたいから」「省エネだと思うから」の順だが、省エネ理由は全体では2割以下にとどまる。
- カーテンやブラインドの使用については「冷暖房に関わりなく、昼間は開け、夜は閉めている」が最も多く、次いで「冷暖房に関わりなく、常時閉めている」が続くが、いずれにしろ開閉については冷暖房に関わりなく実施しているとの回答がほとんどを占めている。

主に使用する暖房機器

		n=							
		エアコン	電気ヒーター (カーボンヒーター、 ハロゲンヒーター、 オイルヒーターなど)	こたつ	電気カーペット	ガスの暖房機器	灯油の暖房機器	床暖房 (電気)	床暖房 (ガス)
全体	438			74.7				9.8	10.0
性年代別	男性	208		78.4				9.1	7.2
	女性	230		71.3				10.4	12.6
	18-29歳	206		73.8				12.1	8.3
	30-39歳	232		75.4				7.8	11.6
	男性 / 18-29歳	99		77.8				11.1	5.1
	男性 / 30-39歳	109		78.9				7.3	9.2
	女性 / 18-29歳	107		70.1				13.1	11.2
	女性 / 30-39歳	123		72.4				8.1	13.8

カーテンやブラインドの使用 (冷暖房使用時)

		n=					
		冷暖房に関わりなく、 昼間は開け、 夜は閉めている	冷暖房に関わりなく、 常時開けている	冷暖房に関わりなく、 常時閉めている	冷暖房時に 閉めている	カーテンやブラインドを 持っていない	冷暖房は使用しない/ 冷暖房器具は 持っていない
全体	600	43.3		6.7	24.0	7.0	16.2
性年代別	300	36.3		8.0	21.7	8.7	23.0
	300	50.3		5.3	26.3	5.3	9.3
	300	40.7		7.0	25.3	8.3	16.7
	300	46.0		6.3	22.7	5.7	15.7
	150	36.0		10.7	19.3	10.0	22.7
	150	36.7		5.3	24.0	7.3	23.3
	150	45.3		3.3	31.3	6.7	10.7
	150	55.3		7.3	21.3	4.0	8.0

暖房機器の 使用理由

全体 n=438	冬季に主に使用する暖房機器		
	エアコン n=327	電気ヒーター (カーボンヒーター、 ハロゲンヒーター、オイルヒーターなど) n=43	こたつ n=44
1. すぐに暖くなるから (52.1)	1. すぐに暖くなるから (50.8)	1. すぐに暖くなるから (60.5)	1. すぐに暖くなるから (47.7)
2. 部屋全体を暖めたいから (32.6)	2. 部屋全体を暖めたいから (42.2)	2. 限られた場所を暖められればよいから (27.9)	1. 省エネだと思うから (47.7)
3. 省エネだと思うから (15.8)	3. 限られた場所を暖められればよいから (10.4)	2. 足元を暖めたいから (27.9)	3. 足元を暖めたいから (43.2)
4. 限られた場所を暖められればよいから (15.1)	4. 省エネだと思うから (8.6)	4. 省エネだと思うから (20.9)	4. 限られた場所を暖められればよいから (29.5)
5. 足元を暖めたいから (10.3)	5. 安価な機器だったから (7.0)	5. 安価な機器だったから (14.0)	5. 空気が乾燥するのが嫌だから (13.6)
6. 安価な機器だったから (8.0)	6. 足元を暖めたいから (2.4)	6. 空気が乾燥するのが嫌だから (11.6)	6. 安価な機器だったから (9.1)
7. 空気が乾燥するのが嫌だから (4.8)	7. 空気が乾燥するのが嫌だから (1.8)	7. 部屋全体を暖めたいから (4.7)	7. 部屋全体を暖めたいから (0.0)
8. その他 (5.0)	8. その他 (6.4)	8. その他 (0.0)	8. その他 (2.3)

【参考】平成28年 暖房使用理由が省エネ

エアコン	7%
電気ヒーター	28%
こたつ	36%

Q18 冬季に、主に使用する暖房機器は何ですか。当てはまるものを一つ選んでください。(SA)【使用者ベース】
 Q18×Q19 Q18で選んだ暖房機器を使用する理由は、何ですか。当てはまる主なものを最大3つまで選んでください。(MA)【使用者ベース】
 Q25 冷暖房を使用する際に、カーテン (レースのカーテン除く) やブラインドをどのように使用していますか。当てはまるものを一つ選んでください。(SA)

主な家電製品の使われ方-6 照明器具

- 「LED」がメインの照明で6割、間接照明においても半数を超え、最多である。平成28年度の調査と比較すると、メイン照明、間接照明とも約4割となっており、LED普及率が上昇していることがわかる。一方、蛍光灯、白熱電灯を合わせると、メイン・間接照明とも2割強がまだ使用している。
- メインの照明も間接照明も「わからない」との回答が全体で1～2割程度を占めている。

メインの照明

		n=				(%)
		LED	蛍光灯	白熱電灯	わからない	
全体	253	63.6	15.8	7.1	13.4	
性年代別	男性	99	67.7	23.2	3.0 6.1	
	女性	154	61.0	11.0	9.7	18.2
	18-29歳	127	63.8	11.8	7.1	17.3
	30-39歳	126	63.5	19.8	7.1	9.5
	男性/18-29歳	51	70.6	17.6	3.9	7.8
	男性/30-39歳	48	64.6	29.2	2.1 4.2	
	女性/18-29歳	76	59.2	7.9	9.2	23.7
	女性/30-39歳	78	62.8	14.1	10.3	12.8

間接照明

		【間接照明設置者ベース】				(%)
		LED	蛍光灯	白熱電灯	わからない	
全体	362	54.4	13.8	8.8	22.9	
176	176	56.3	16.5	10.8	16.5	
186	186	52.7	11.3	7.0	29.0	
190	190	54.7	11.6	8.4	25.3	
172	172	54.1	16.3	9.3	20.3	
93	93	62.4	10.8	9.7	17.2	
83	83	49.4	22.9	12.0	15.7	
97	97	47.4	12.4	7.2	33.0	
89	89	58.4	10.1	6.7	24.7	

Q23 メインの照明（居室の天井照明。間接照明は除く）は、何を設置していますか。当てはまるもの一つを選んでください。（SA）【所有者ベース】
 Q24 間接照明は、何を設置していますか。当てはまるもの一つを選んでください。（SA）【間接照明設置者ベース】

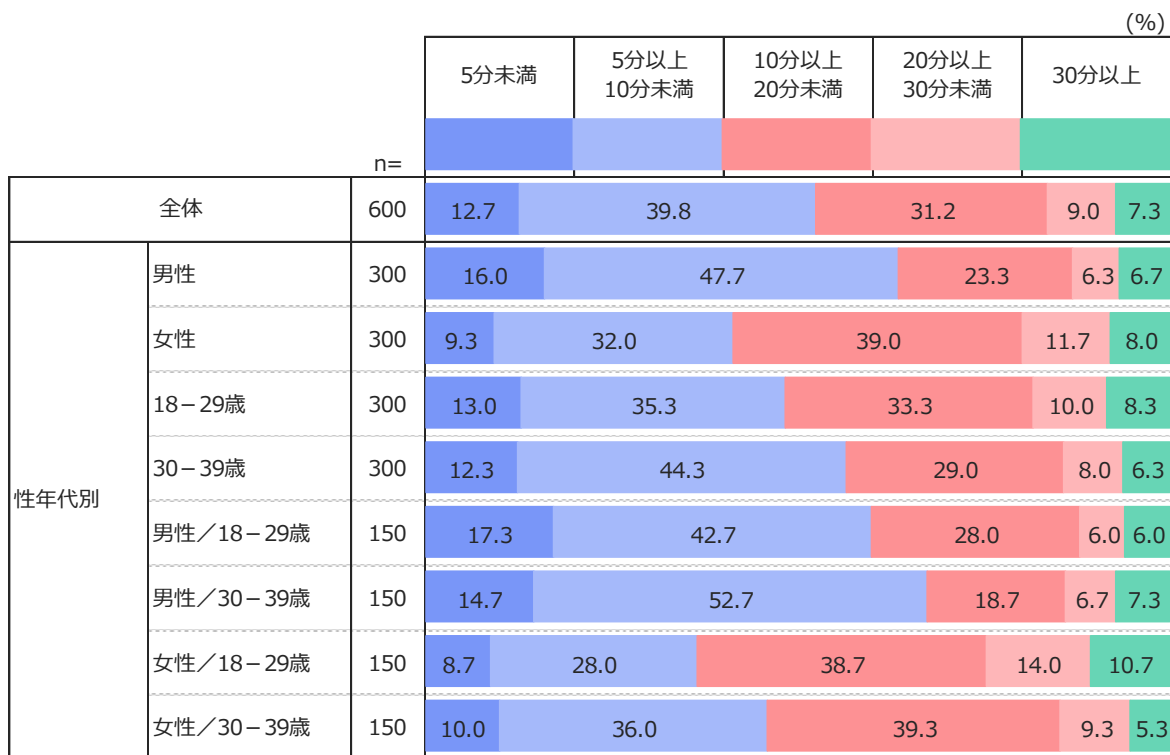
【参考】平成28年
 <メインの照明>
 LED 40%
 蛍光灯 36%
 白熱電灯 6%

<間接照明>
 LED 37%
 蛍光灯 30%
 白熱電灯 15%

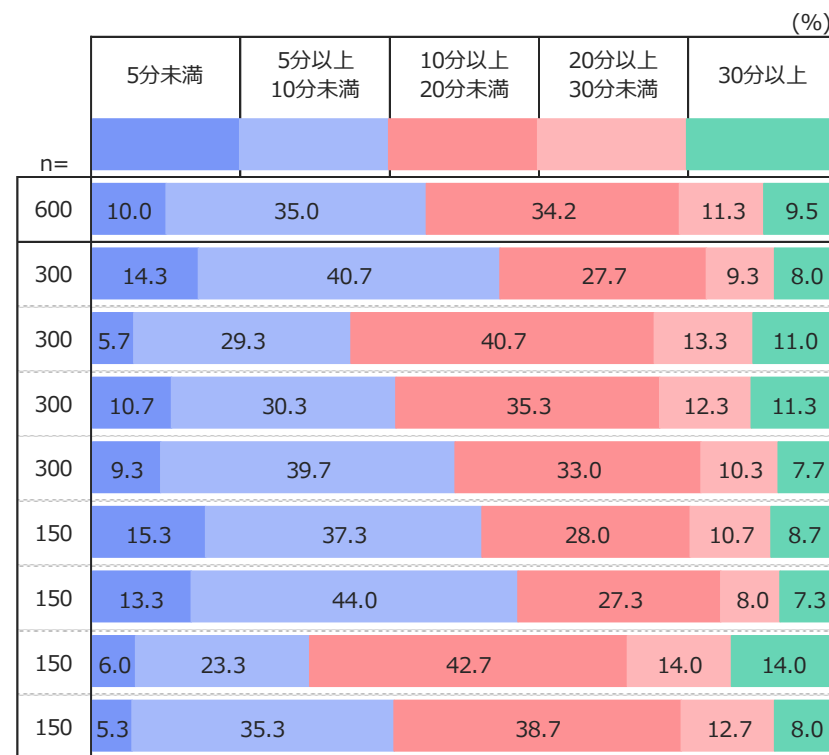
シャワーの使い方-1

- シャワー使用時間は【夏季】も【冬季】も「5分以上10分未満」が最多で、次いで「10分以上20分未満」で、20分未満が全体の8割以上を占める。
- シャワーを出している時間は、【夏季】のほうが若干【冬季】より短い傾向ではあるが、ほぼ変わらない。

【夏季】シャワーを出している時間



【冬季】シャワーを出している時間



Q26_1 1回の入浴につき、シャワーを出している時間はどれくらいですか。【夏季】【冬季】それぞれ当てはまるもの一つを選んでください。／【夏季】(SA)

Q26_2 1回の入浴につき、シャワーを出している時間はどれくらいですか。【夏季】【冬季】それぞれ当てはまるもの一つを選んでください。／【冬季】(SA)

シャワーの使われ方-2

- 節水シャワーヘッド利用率は、全体で2割程度である。
- 一方、「節水シャワーヘッドを知らない」が約4分の1を占める。

節水シャワーヘッドの利用

【参考】平成28年 節水シャワーヘッドの利用
 利用している 14%
 利用していない 63%
 知らない 23%

		n=	利用している			利用していない			節水シャワーヘッドを知らない		
			19.2			55.7			25.2		
全体		600	19.2			55.7			25.2		
性年代別	男性	300	17.0			53.0			30.0		
	女性	300	21.3			58.3			20.3		
	18-29歳	300	17.3			57.3			25.3		
	30-39歳	300	21.0			54.0			25.0		
	男性/18-29歳	150	17.3			52.0			30.7		
	男性/30-39歳	150	16.7			54.0			29.3		
	女性/18-29歳	150	17.3			62.7			20.0		
	女性/30-39歳	150	25.3			54.0			20.7		

【夏季】シャワーを出している時間

		n=	【節水シャワー使用者ベース】				
			5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上
全体		115	8.7	40.9	38.3	6.1	6.1
性年代別	男性	51	9.8	56.9	23.5	5.9	3.9
	女性	64	7.8	28.1	50.0	6.3	7.8
	18-29歳	52	3.8	38.5	44.2	5.8	7.7
	30-39歳	63	12.7	42.9	33.3	6.3	4.8
	男性/18-29歳	26	7.7	57.7	26.9	3.8	3.9
	男性/30-39歳	25	12.0	56.0	20.0	8.0	4.0
	女性/18-29歳	26	19.2	61.5	7.7	11.5	
	女性/30-39歳	38	13.2	34.2	42.1	5.3	5.3

※n=30未満は参考値のため灰色。

【冬季】シャワーを出している時間

		n=	【節水シャワー使用者ベース】				
			5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上
全体		115	6.1	35.7	40.0	9.6	8.7
性年代別	男性	51	7.8	41.2	29.4	13.7	7.8
	女性	64	4.7	31.3	48.4	6.3	9.4
	18-29歳	52	1.9	32.7	40.4	13.5	11.5
	30-39歳	63	9.5	38.1	39.7	6.3	6.3
	男性/18-29歳	26	3.8	46.2	23.1	15.4	11.5
	男性/30-39歳	25	12.0	36.0	36.0	12.0	4.0
	女性/18-29歳	26	19.2	57.7	11.5	11.5	
	女性/30-39歳	38	7.9	39.5	42.1	2.6	7.9

※n=30未満は参考値のため灰色。

Q26_1 1回の入浴につき、シャワーを出している時間はどれくらいですか。【夏季】【冬季】それぞれ当てはまるものを一つ選んでください。／【夏季】(SA) 【節水シャワー使用者ベース】
 Q26_2 1回の入浴につき、シャワーを出している時間はどれくらいですか。【夏季】【冬季】それぞれ当てはまるものを一つ選んでください。／【冬季】(SA) 【節水シャワー使用者ベース】
 Q27 節水シャワーヘッド（スイッチ付きシャワーヘッド含む）を利用していますか。当てはまるものを一つ選んでください。(SA)

家電製品の選び方-1 選定方法

■ 家電の選定方法別にをみると、<部屋に備え付けられていた>では「温水洗浄便座」「エアコン」「浴室乾燥機」が6割以上を占め高い。<販売店で一人で選んだ>は、「スマートフォン」「扇風機」「洗濯機（乾燥機能付き）」「灯油の暖房機器」「空気清浄機器」が、<オンラインショップの商品情報、口コミレビューを参考に自分で選んだ>は、「タブレット端末」「こたつ」「空気清浄器」がそれぞれ上位を占める。

部屋に備え付けられていた		販売店で一人で選んだ		オンラインショップ (Amazon、楽天市場など)の 商品情報、口コミレビューを参考に自分で選んだ		親が選んだ		親に相談し選んだ	
1. 温水洗浄便座 (71.7)	1. スマートフォン (52.6)	1. タブレット端末 (スマートフォン除く) (24.5)	1. 電気カーペット (12.7)	1. 炊飯器 (14.2)	2. エアコン (68.8)	2. 扇風機 (48.2)	2. 電気ケトル (12.2)	2. ガスの暖房機器 (13.3)	3. 冷蔵庫 (12.8)
3. 浴室乾燥機 (64.7)	3. 洗濯機 (乾燥機能付き) (47.7)	3. 空気清浄器 (23.8)	3. 炊飯器 (10.6)	4. 電子レンジ (12.7)	4. メインの照明 (居室の天井照明。間接照明は除く) (48.6)	4. 灯油の暖房機器 (45.5)	4. テレビ (10.5)	4. 電子レンジ (12.7)	
5. 床暖房 (ガス) (46.2)	5. 空気清浄器 (45.1)	5. 掃除機 (20.9)	5. 電気ヒーター (カーボンヒーター、ハロゲンヒーター、オイルヒーターなど) (10.2)	5. 洗濯機 (12.6)	5. IHクッキングヒーター (46.2)	6. こたつ (40.7)	6. 床暖房 (電気) (9.1)	6. 掃除機 (10.9)	
7. 床暖房 (電気) (45.5)	7. ガスの暖房機器 (40.0)	7. 灯油の暖房機器 (18.2)	7. 洗濯機 (8.2)	7. テレビ (10.8)	8. 洗濯機 (4.9)	8. 電子レンジ (39.3)	8. 冷蔵庫 (8.0)	8. こたつ (10.5)	
9. 冷蔵庫 (4.8)	9. 電気ヒーター (カーボンヒーター、ハロゲンヒーター、オイルヒーターなど) (38.0)	9. 扇風機 (16.7)	9. 電子レンジ (7.9)	9. 扇風機 (10.4)	10. 冷蔵庫 (4.2)	10. タブレット端末 (スマートフォン除く) (37.7)	10. 電子レンジ (7.9)	9. 扇風機 (10.4)	
11. ター、ハロゲンヒーター、オイルヒーターなど (3.7)	11. 電気ケトル (37.1)	11. パソコン (ノート型) (14.5)	10. 床暖房 (ガス) (7.7)	10. 電気カーペット (9.5)	12. 洗濯機 (乾燥機能付き) (3.6)	12. 掃除機 (36.8)	10. IHクッキングヒーター (7.7)	11. 電気ケトル (8.5)	
13. パソコン (デスクトップ型) (3.2)	13. 炊飯器 (36.2)	13. 電子レンジ (13.5)	11. 電気ケトル (8.5)	12. 掃除機 (7.5)	14. 電子レンジ (3.0)	14. ガスの暖房機器 (13.3)	12. 掃除機 (7.5)	12. 床暖房 (ガス) (7.7)	
15. 掃除機 (1.6)	15. パソコン (ノート型) (35.1)	15. 炊飯器 (12.4)	12. 掃除機 (7.5)	13. 電気ケトル (6.5)	15. 掃除機 (1.6)	15. 空気清浄器 (35.1)	13. ガスの暖房機器 (6.7)	13. 電気ヒーター (カーボンヒーター、ハロゲンヒーター、オイルヒーターなど) (6.5)	
17. 炊飯器 (1.5)	17. テレビ (34.0)	17. 冷蔵庫 (11.7)	13. 電気ケトル (6.3)	14. 洗濯機 (乾燥機能付き) (6.3)	18. 扇風機 (1.4)	18. パソコン (デスクトップ型) (33.3)	14. 洗濯機 (乾燥機能付き) (6.3)	14. 洗濯機 (乾燥機能付き) (6.3)	
18. 扇風機 (1.4)	18. パソコン (デスクトップ型) (33.3)	18. 洗濯機 (11.1)	15. パソコン (ノート型) (5.8)	15. タブレット端末 (スマートフォン除く) (5.7)	18. 電気ケトル (1.4)	19. 電気カーペット (30.2)	15. パソコン (ノート型) (5.8)	15. タブレット端末 (スマートフォン除く) (5.7)	
20. パソコン (ノート型) (1.1)	20. 床暖房 (ガス) (23.1)	20. テレビ (10.5)	17. 炊飯器 (11.9)	16. パソコン (ノート型) (5.3)	21. タブレット端末 (スマートフォン除く) (0.0)	21. メインの照明 (居室の天井照明。間接照明は除く) (18.6)	17. 空気清浄器 (5.7)	16. パソコン (ノート型) (5.3)	
21. スマートフォン (0.0)	21. メインの照明 (居室の天井照明。間接照明は除く) (18.6)	21. 床暖房 (電気) (9.1)	18. 洗濯機 (11.1)	17. 浴室乾燥機 (5.1)	21. スマートフォン (0.0)	22. 床暖房 (電気) (18.2)	18. メインの照明 (居室の天井照明。間接照明は除く) (5.5)	17. 浴室乾燥機 (5.1)	
21. こたつ (0.0)	22. 床暖房 (電気) (18.2)	22. 洗濯機 (乾燥機能付き) (9.0)	19. 扇風機 (5.4)	20. 温水洗浄便座 (3.9)	21. こたつ (0.0)	23. IHクッキングヒーター (17.3)	19. 扇風機 (5.4)	18. スマートフォン (4.9)	
21. 電気カーペット (0.0)	23. IHクッキングヒーター (17.3)	23. 床暖房 (ガス) (7.7)	20. 温水洗浄便座 (3.9)	21. スマートフォン (3.5)	21. 電気カーペット (0.0)	24. エアコン (15.0)	20. 温水洗浄便座 (3.9)	19. パソコン (デスクトップ型) (4.3)	
21. ガスの暖房機器 (0.0)	24. エアコン (15.0)	24. 浴室乾燥機 (5.1)	21. スマートフォン (3.5)	21. IHクッキングヒーター (3.8)	21. 灯油の暖房機器 (0.0)	25. 浴室乾燥機 (14.7)	21. メインの照明 (居室の天井照明。間接照明は除く) (4.3)	21. IHクッキングヒーター (3.8)	
21. 灯油の暖房機器 (0.0)	25. 浴室乾燥機 (14.7)	25. 温水洗浄便座 (3.9)	22. エアコン (3.2)	22. 空気清浄器 (3.3)	21. 灯油の暖房機器 (0.0)	26. 温水洗浄便座 (11.8)	22. 空気清浄器 (3.3)	22. 空気清浄器 (3.3)	
	26. 温水洗浄便座 (11.8)	26. エアコン (3.4)	23. エアコン (2.1)	23. エアコン (2.1)	21. 灯油の暖房機器 (0.0)		23. エアコン (2.1)	23. エアコン (2.1)	
			24. 温水洗浄便座 (2.0)	24. 温水洗浄便座 (2.0)	21. 灯油の暖房機器 (0.0)		24. 温水洗浄便座 (2.0)	24. 温水洗浄便座 (2.0)	
			25. 灯油の暖房機器 (0.0)	25. 灯油の暖房機器 (0.0)	21. 灯油の暖房機器 (0.0)		25. 灯油の暖房機器 (0.0)	25. 灯油の暖房機器 (0.0)	
			25. 床暖房 (電気) (0.0)	25. 床暖房 (電気) (0.0)	21. 灯油の暖房機器 (0.0)		25. 床暖房 (電気) (0.0)	25. 床暖房 (電気) (0.0)	

Q3 Q2で保有している機器について、どのように機器を選びましたか。当てはまるもの一つを選んでください。(各SA)【保有者ベース】

家電製品の選び方-2 主要家電選択時重視点

- 主要家電の選択時の重視点を『重視する・計』でみると、【テレビ】【メインの照明】【冷蔵庫】では<機器の値段> <サイズ>が上位2要素であり、それぞれ6~7割を超えている。【エアコン】では<電気代> <機器の値段>が上位2要素である。
- <省エネ性能>の重視度は4機器とも5割未満である。一方、<電気代>の重視度は<省エネ性能>の重視度よりも高い。

テレビ

項目	n=	重視する・計 (%)					重視しない・計 (%)		
		重視する	やや重視する	どちらともいえない	あまり重視しない	重視しない	重視する・計	重視しない・計	平均
		デザイン	285	13.0	29.5	30.5	17.2	9.8	42.5
電気代	285	15.8	33.3	31.9	13.0	6.0	49.1	18.9	3.4
機器の値段	285	45.6	28.8	21.4	2.8	1.4	74.4	4.2	4.1
サイズ	285	36.1	35.1	23.9	3.9	1.1	71.2	4.9	4.0
機能が充実	285	17.2	34.7	37.5	7.7	2.8	51.9	10.5	3.6
メーカー	285	13.7	33.0	34.4	14.4	4.6	46.7	18.9	3.4
新しい機種	285	7.7	21.1	40.4	22.8	8.1	28.8	30.9	3.0
使いやすさ、操作しやすさ	285	17.5	42.8	31.2	6.0	2.5	60.4	8.4	3.7
省エネ性能	285	10.9	31.9	41.8	11.6	3.9	42.8	15.4	3.3

メインの照明

項目	n=	重視する・計 (%)					重視しない・計 (%)		
		重視する	やや重視する	どちらともいえない	あまり重視しない	重視しない	重視する・計	重視しない・計	平均
		デザイン	109	18.3	34.9	23.9	12.8	10.1	53.2
電気代	109	22.9	34.9	26.6	9.2	6.4	57.8	15.6	3.6
機器の値段	109	39.4	32.1	22.9	3.7	1.8	71.6	5.5	4.0
サイズ	109	27.5	33.9	30.3	5.5	2.8	61.5	8.3	3.8
機能が充実	109	16.5	21.1	39.4	19.3	3.7	37.6	22.9	3.3
メーカー	109	11.0	17.4	39.4	23.9	8.3	28.4	32.1	3.0
新しい機種	109	6.4	13.8	45.0	25.7	9.2	20.2	34.9	2.8
使いやすさ、操作しやすさ	109	20.2	33.0	36.7	10.1	3.6	53.2	10.1	3.6
省エネ性能	109	12.8	33.9	39.4	10.1	3.7	46.8	13.8	3.4

冷蔵庫

項目	n=	重視する・計 (%)					重視しない・計 (%)		
		重視する	やや重視する	どちらともいえない	あまり重視しない	重視しない	重視する・計	重視しない・計	平均
		デザイン	372	15.3	29.6	32.0	14.5	8.6	44.9
電気代	372	21.2	36.3	33.6	6.7	2.2	57.5	8.9	3.7
機器の値段	372	44.1	27.4	23.1	4.6	0.8	71.5	5.4	4.1
サイズ	372	41.7	29.0	24.2	4.0	1.1	70.7	5.1	4.1
機能が充実	372	14.8	32.5	35.5	14.5	2.7	47.3	17.2	3.4
メーカー	372	11.8	25.3	40.1	16.1	6.7	37.1	22.8	3.2
新しい機種	372	8.1	19.6	40.6	20.2	11.6	27.7	31.7	2.9
使いやすさ、操作しやすさ	372	17.5	37.6	37.1	5.4	2.4	55.1	7.8	3.6
省エネ性能	372	15.9	31.7	40.3	8.9	3.2	47.6	12.1	3.5

エアコン

項目	n=	重視する・計 (%)					重視しない・計 (%)		
		重視する	やや重視する	どちらともいえない	あまり重視しない	重視しない	重視する・計	重視しない・計	平均
		デザイン	119	10.1	23.5	37.0	19.3	10.1	33.6
電気代	119	25.2	33.6	33.6	6.7	0.8	58.8	7.6	3.8
機器の値段	119	26.9	29.4	32.8	10.9	0.8	56.3	10.9	3.7
サイズ	119	14.3	31.9	45.4	7.6	0.8	46.2	8.4	3.5
機能が充実	119	12.6	31.9	42.9	10.9	1.7	44.5	12.6	3.4
メーカー	119	16.0	20.2	47.9	15.1	0.8	36.1	16.0	3.4
新しい機種	119	10.9	22.7	44.5	16.0	5.9	33.6	21.8	3.2
使いやすさ、操作しやすさ	119	14.3	35.3	38.7	10.9	0.8	49.6	11.8	3.5
省エネ性能	119	18.5	28.6	41.2	8.4	3.4	47.1	11.8	3.5

Q4 現在保有している以下の機器をどのような基準で選びましたか。(各SA)
【保有者ベース】

物件選びの重視度

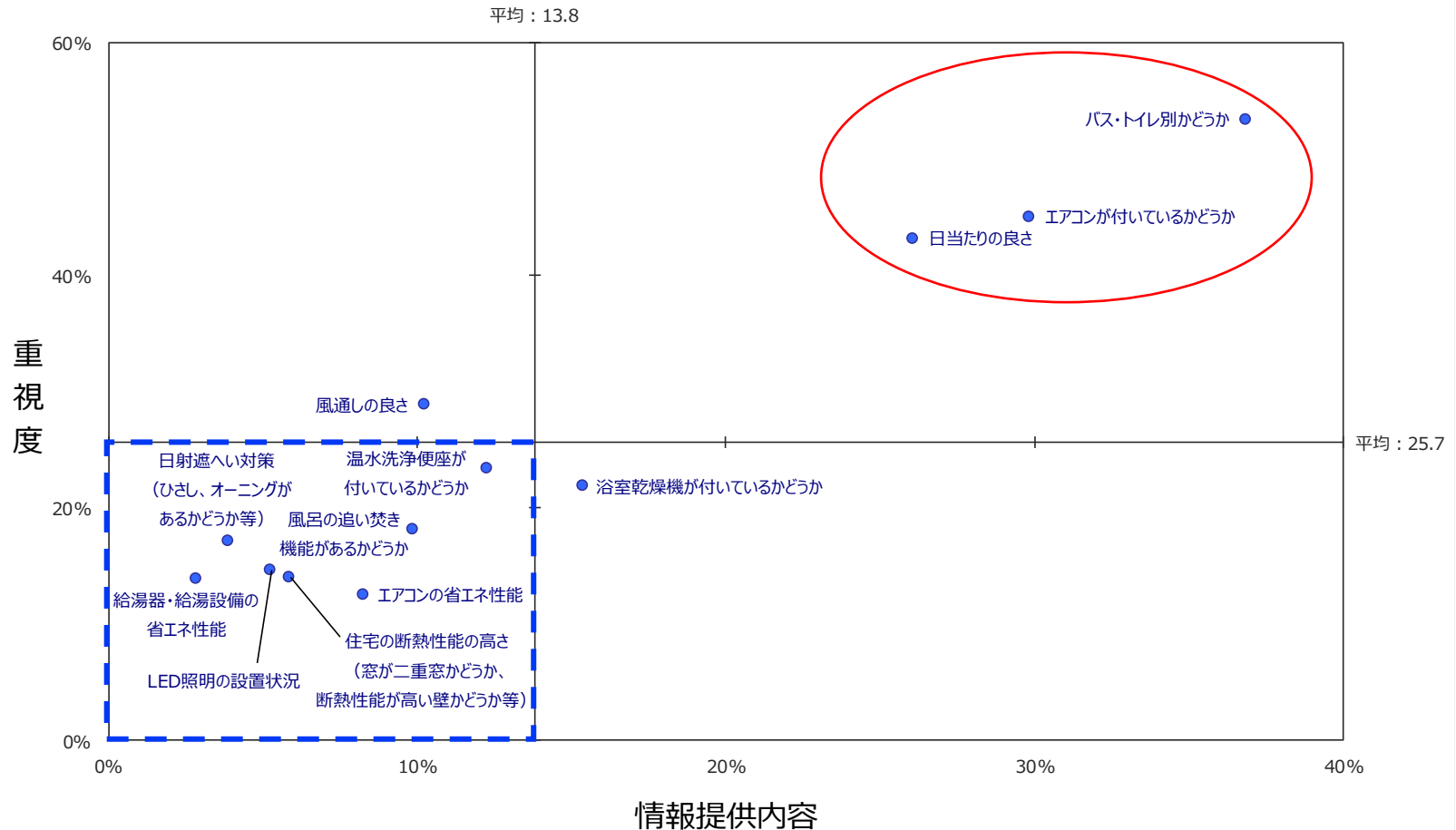
- 物件選びの重視度（重視した・計）の高いものをみると、「バス・トイレ別かどうか」「エアコンが付いているかどうか」「日当たりの良さ」「風通しの良さ」が上位であり、性別にみても、年齢別にみても大きな差はみられない。重視度として低いのは、「LED照明の設置状況」「住宅の断熱性の高さ」「給湯器・給湯設備の省エネ性能」「エアコンの省エネ性能」などの省エネ関連の項目であり、これらの重視度の低さも性別、年齢別で大きな差はみられない。

全体 n=600	性別		年齢別	
	男性 n=300	女性 n=300	18-29歳 n=300	30-39歳 n=300
1. バス・トイレ別かどうか (53.5)	1. バス・トイレ別かどうか (45.7)	1. バス・トイレ別かどうか (61.3)	1. バス・トイレ別かどうか (51.3)	1. バス・トイレ別かどうか (55.7)
2. エアコンが付いているかどうか (45.2)	2. エアコンが付いているかどうか (36.7)	2. エアコンが付いているかどうか (53.7)	2. エアコンが付いているかどうか (46.7)	2. 日当たりの良さ (44.0)
3. 日当たりの良さ (43.3)	3. 日当たりの良さ (35.7)	3. 日当たりの良さ (51.0)	3. 日当たりの良さ (42.7)	3. エアコンが付いているかどうか (43.7)
4. 風通しの良さ (29.0)	4. 風通しの良さ (26.3)	4. 風通しの良さ (31.7)	4. 風通しの良さ (30.3)	4. 風通しの良さ (27.7)
5. 温水洗浄便座が付いているかどうか (23.5)	5. 温水洗浄便座が付いているかどうか (21.3)	5. 浴室乾燥機が付いているかどうか (27.0)	5. 浴室乾燥機が付いているかどうか (26.7)	5. 温水洗浄便座が付いているかどうか (22.3)
6. 浴室乾燥機が付いているかどうか (22.0)	6. 日射遮へい対策 (ひさし、オーニングがあるかどうか等) (18.7)	6. 温水洗浄便座が付いているかどうか (25.7)	6. 温水洗浄便座が付いているかどうか (24.7)	6. 浴室乾燥機が付いているかどうか (17.3)
7. 風呂の追い焚き機能があるかどうか (18.3)	7. 浴室乾燥機が付いているかどうか (17.0)	7. 風呂の追い焚き機能があるかどうか (20.3)	7. 風呂の追い焚き機能があるかどうか (20.7)	7. 風呂の追い焚き機能があるかどうか (16.0)
8. 日射遮へい対策 (ひさし、オーニングがあるかどうか等) (17.3)	8. 風呂の追い焚き機能があるかどうか (16.3)	8. 日射遮へい対策 (ひさし、オーニングがあるかどうか等) (16.0)	8. 日射遮へい対策 (ひさし、オーニングがあるかどうか等) (19.0)	8. 日射遮へい対策 (ひさし、オーニングがあるかどうか等) (15.7)
9. LED照明の設置状況 (14.8)	9. LED照明の設置状況 (14.3)	9. LED照明の設置状況 (15.3)	9. 給湯器・給湯設備の省エネ性能 (16.7)	住宅の断熱性能の高さ (窓が二重窓かどうか、 断熱性能が高い壁かどうか等) (13.7)
10. 住宅の断熱性能の高さ (窓が二重窓かどうか、 断熱性能が高い壁かどうか等) (14.2)	10. 住宅の断熱性能の高さ (窓が二重窓かどうか、 断熱性能が高い壁かどうか等) (14.0)	10. 給湯器・給湯設備の省エネ性能 (15.0)	10. LED照明の設置状況 (16.0)	9. LED照明の設置状況 (13.7)
11. 給湯器・給湯設備の省エネ性能 (14.0)	11. エアコンの省エネ性能 (13.0)	住宅の断熱性能の高さ (窓が二重窓かどうか、 断熱性能が高い壁かどうか等) (14.3)	住宅の断熱性能の高さ (窓が二重窓かどうか、 断熱性能が高い壁かどうか等) (14.7)	11. エアコンの省エネ性能 (11.7)
12. エアコンの省エネ性能 (12.7)	11. 給湯器・給湯設備の省エネ性能 (13.0)	12. エアコンの省エネ性能 (12.3)	12. エアコンの省エネ性能 (13.7)	12. 給湯器・給湯設備の省エネ性能 (11.3)

Q30 現在の賃貸物件を選ぶ際、下記の項目をどの程度重視しましたか。／『重視した・計』スコア（各SA）

物件選びの重視度と不動産会社からの情報提供内容

- 物件選びの重視度と不動産会社からの情報提供内容については関連がみられ、重視度が高いものが情報提供内容としても高くなっている。
- 「エアコンの省エネ性能」や「給湯器・給湯設備の省エネ性能」「LED照明の設置状況」「住宅の断熱性の高さ」など省エネ関連情報は、物件選びの際に重視されておらず、不動産会社からの情報提供内容も少ないのが現状である。



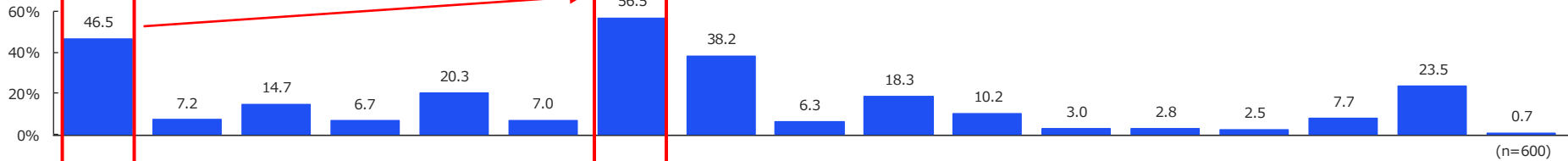
Q29 現在の賃貸物件を選ぶ際、不動産会社から下記の項目について情報提供はありましたか。当てはまるものをすべて選んでください。(MA)

Q30 現在の賃貸物件を選ぶ際、下記の項目をどの程度重視しましたか。/『重視した・計』スコア (各SA)

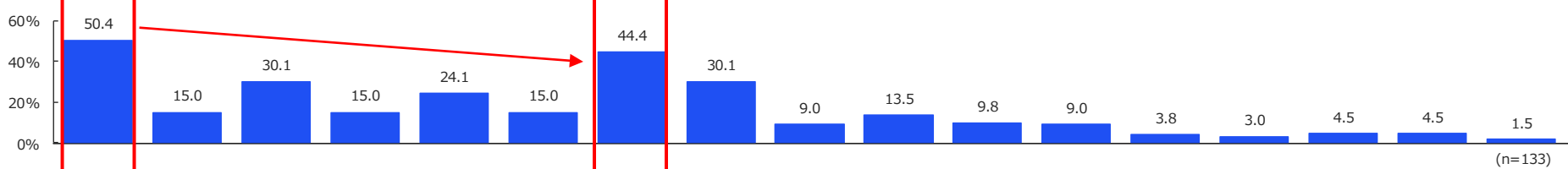
情報入手経路 普段／省エネ情報

- 普段よく利用しているものは「SNS」が約6割を占めトップで、ついで「テレビ」「検索エンジン」と続く。
- 省エネ情報を得た手段は「テレビ」がトップであり、ついで「SNS」「検索エンジン」と続く。最も印象に残ったのは僅差で「SNS」が29.3%とトップで、ついで「テレビ」(28.6%)、「メーカーの公式ホームページ」と続く。

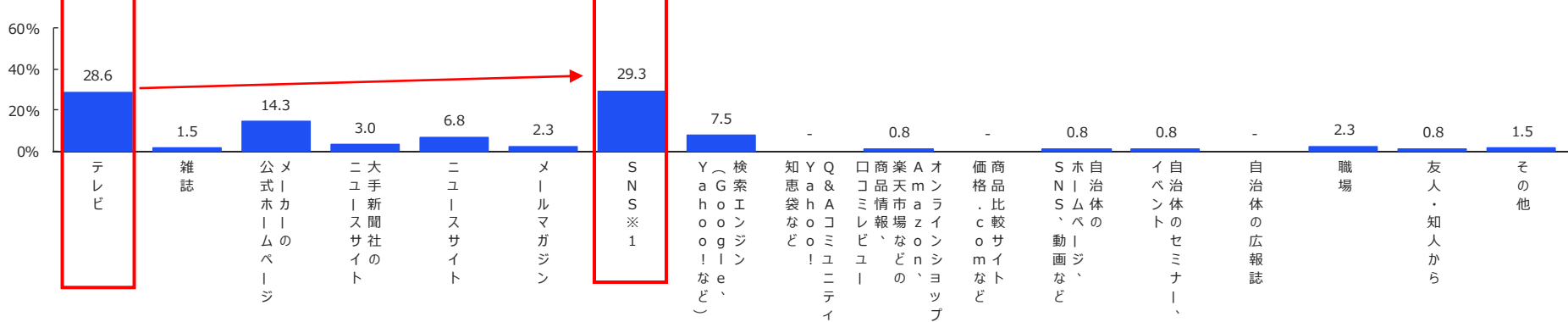
よく利用しているもの



情報を得た手段



最も印象に残ったもの



※1 (YouTube、TikTok、Instagram、X (旧Twitter) など)

Q33 以下にあげるような情報源で、あなたがふだん、よく利用していると思うものを全てお知らせください。(MA)

Q32_1 省エネ方法について、どこから情報を得ましたか。当てはまるものをすべて選んでください。また、その中で最も印象に残ったもの一つを選んでください。／情報を得た手段 (MA) 【省エネ情報取得者ベース】

Q32_2 省エネ方法について、どこから情報を得ましたか。当てはまるものをすべて選んでください。また、その中で最も印象に残ったもの一つを選んでください。／最も印象に残ったもの (SA) 【省エネ情報取得者ベース】

01

家電の保有状況、使用状況、省エネ関連の認知率、実施率

- 家電製品の保有状況、使用状況については、**保有しているものはほぼ使用されており**、“死蔵”されている機器は少数という特長がみられた。
- **テレビの省エネモード設定者は約3割**しかおらず、省エネモードの周知と必要性について伝えていくことで、向上が望まれる。同時に、録画機能使用者の中には、未視聴のままとする、或いは未視聴のまま削除することがある人が**約4分の3**を占めており、この点についても、**省エネ観点からの告知が必要**であろう。
- **節水シャワーヘッドの利用は2割**にとどまっており、また照明においてはメインも間接照明も**LED利用率は5～6割**であることから、まだまだ伸びしろは大きいと考えられるので、これらの**省エネ対策関連の情報発信も重要**である。

機器の使用および選択の場面のみならず、物件選択の場面においても、省エネの余地があることが確認された。今後の情報提供の際は、これらの視点も含めた検討が有効であろう。また情報発信源としては、SNSの活用が有効であると推察されるので、今後は発信方法含め検討する必要がある。

02

家電選択時、物件選びの重視内容における省エネ

- 主要4家電の選択に際し、**省エネ性能の重視度はいずれの機器も5割未満**である。一方、**電気代の重視度は、省エネ性能の重視度よりも高い**。家電製品の「省エネ性能」が「電気代」に直結していることを理解していない消費者がいることが推察される。**周知の必要性**があると共に、場面に応じて、**より訴求力がある用語（「電気代」）の使用を検討**すべきと考える。
- 物件選びの際に「住宅の断熱性能」や「エアコンの省エネ性能」などの**省エネに係ることへの重視度は低い**。また、重視度と不動産会社からの情報提供の有無には相関があることが確認された。住宅の躯体および備え付け機器の**省エネ性能に関する情報が不動産会社から提供されることで、消費者の重視度が向上することが期待できる**。併せて、消費者への一層の普及広報も必要である。

03

情報収集活動と省エネ情報の効果的訴求チャネル

- 普段の情報源としては「**SNS**」「**テレビ**」「**検索エンジン**」「**友人・知人から**」が高い。
- 一方、省エネ情報取得者があげた省エネ情報を得たチャネルは「**テレビ**」「**SNS**」「**メーカーの公式ホームページ**」「**検索エンジン**」であった。また、最も印象に残ったのは僅差ではあるが「**SNS**」があげられた。
- これらのことを総合的に考えると、「**SNS**」は単身若年層にとって身近であり、またそこから得た情報が印象に残りやすいことが推察される。
- 単身若年層により一層、省エネ情報を浸透させていくためには、**接触しやすく、浸透しやすい「SNS」への発信が効果的**である。